

令和5年度
沖縄工業高等専門学校

インターンシップのしおり

企業の皆様へ

(令和5年7月10日版)

沖縄工業高等専門学校（以下「沖縄高専」）では、「人々に信頼され、開拓精神あふれる技術者の育成により、社会の発展に寄与する」ことを教育理念として学生の教育に努めています。なかでも学生が産業や社会について実践的な知見を深め、学生自身のキャリア形成に資することを目的として企業等との共同教育を推進し、本科4学年でのインターンシップを必修科目に、専攻科では1学年で長期インターンシップを選択科目に設定しています。

「インターンシップのしおり」は、本科4学年のインターンシップについて実習を受入れている企業・組織の方々のご理解とご協力をいただくために作成しました。ご一読いただき、実習受入れについてご検討いただければ幸いです。

1. 新型コロナウイルス感染症について
2. 本科4学年「インターンシップ」（必修）について
3. 実習についてのスケジュール
4. 企業等での実習にあたって
5. よくあるご質問

資料1 「実習報告ノート」

資料2 「沖縄工業高等専門学校インターンシップ学生評価書」

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校 学生課 学生係

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

電話：0980-55-4032

FAX：0980-55-4012

E-Mail：ggakusei@okinawa-ct.ac.jp

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

感染症対策として、本校では次のとおり指導をしています。

平時：基本的な感染症対策（健康観察、換気、手指衛生、清掃と手洗い）を行う。

流行期：マスクの着用を促し、感染リスクが高い行動については一時的に「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控える等の対策を講じる。

※インターンシップ実習期間中は、受入れ先企業・団体・組織の定める感染症対策に従いますので、ご指導をお願いいたします。

2. 本科4学年「インターンシップ」（必修）について

2-1 科目の目標

授業科目は通年（1年間）で、大まかに「事前学習（学内）」「実習（企業）」「事後学習（学内）」で構成されま

- す。通年で学生が、
- ① 座学や実験などで学んだ知識が社会活動にどのように関わっているかを研修/実習を通して理解する
 - ② 研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる
 - ③ 研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する
 - ④ 企業における多様な価値観を認識することができる
- ことを目標としています。

2-2 提供いただくインターンシッププログラムの内容について

インターンシッププログラムの内容については、受入れていただける企業等の状況や体制等の事情により異なることが想定されますので、本校から具体的なプログラムのご提案等はございません。

しかしながら、上記2-1で記載した科目の目標の達成という目的がございますので、企業等の皆様には、当該目標を達成できるよう、プログラムの構成を検討いただけますと幸いです。

なお、基本的に当該目標を達成できる内容であれば支障はありませんが、下記のようなプログラムにならないようご注意ください。

- ・実習を含まない会社見学、会社説明会のみとなるプログラム
- ・専門性をほとんど排除した雑用・座学のみを課すプログラム
- ・採用を主たる目的とした試験や実習等を課すプログラム

2-3 授業のながれ

通年の授業の内容は以下のように、学内での事前学習、企業等での実習、学内での事後学習で構成されます。

4月～7月	【事前学習】学内 ・ガイダンス ・自己分析 ・企業研究 ・ビジネスマナー ・実習に向けた個別の学習
8月～9月	【企業等での実習】学外 5日間以上
10月～1月	【事後学習】学内 ・インターンシップ報告会 ・報告書作成 ・企業技術者講演会 ・業界研究 ・進路選択

2-4 学外での実習期間

インターンシップ実習期間：令和5年8月21日（月）～9月15日（金）（変更となる場合があります。）

単位認定のために、企業等での実習期間は、1日の労働時間を8時間として5日以上としています。複数の企業等での実習を合算して5日以上でも可としていますので、5日未満の実習についても実施予定があればぜひご案内ください。

2-5 企業等へのお願い

企業等での実習期間中、学生は資料1「実習報告ノート」を毎日作成します。企業等の指導担当者様で内容をご覧いただき、学生に対するコメントをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、資料1「実習報告ノート」は社内フォーマットで代替頂いても結構です。

実習後に学生個別に実習の態度等を評価していただき、資料2「沖縄工業高等専門学校インターンシップ学生評価書」にご記載のうえ、ご返送ください。

3. 実習についてのスケジュール

令和5年度の日程表

～7月中旬	企業等からの受入票及び募集要項等を基に学生のマッチング
～夏期休講前	企業等への応募 受入決定企業等との連絡調整
8月～9月	企業等での実習 （「実習報告ノート」のご協力をお願いいたします。）
実習後～10月末日	企業等から評価を受領（沖縄工業高等専門学校インターンシップ学生評価書）

4. 企業等での実習にあたって

事前学習を通じて、学生は以下のとおり準備しています。

（1）守秘義務

実習中に知り得た情報に関する守秘義務について理解しています。

（2）保険の加入

実習中の事故に備えて、学生は全員が（財）産業教育振興中央会のインターンシップ・ボランティア等体験活動に対応した「傷害保険」と「賠償責任保険」（<http://www.sansinchuoukai.or.jp/>）へ加入しています。

企業実習中の事故は、学校管理下の体験活動中の事故と見なされ、保険が適用されます。

5. よくあるご質問

Q. 受入れの予定だが、具体的なプログラムや場所について確定していない場合は申込できないのか？

A. 本校としては、学生の受入れ先確保や学生の選択肢の確保といった面から、回答フォームへの入力期間にプログラム内容等が確定していない場合でも、以下の要件を満たし、かつ一定の必要項目を記入いただき回答いただいています。

- ・5日以上プログラムとなること
- ・移動日を含めた実習期間が実習可能期間に収まること
- ・本校の科目の目標に対応するプログラムとなるよう検討いただけること

Q. 受入れにあたり労働に対する対価（給与等に類似するもの）を支払いたいが問題ないか？

- A. 本校のインターンシップはあくまで授業の一環として派遣しますので、学生と企業の雇用契約等を行うものではありません。そのような対価は不要であり、受領することを認めることはできません。
- Q. 実習期間は移動日を含む形で記載したほうがよいか？
- A. 実習期間は、あくまで、学生がインターンシップを行う期間となります。
移動日については、必要があれば別で記載いただくようお願いいたします。
なお、学内では、移動日においても保険が適用されるよう調整しますので、学生への連絡の際に確実な日程が伝わるようお願いいたします。
- Q. 保険加入証明書の発行をお願いしたいが発行できるか？
- A. 本校としましては、簡易的に処理できること、十分な証明となることから、原則として保険加入申込書一式の写しを提出しております。企業等の手続き上の問題で、証明書が必要な場合は対応が可能ですが、発行にお時間がかかりますのでご了承ください。
- Q. 回答フォームへ入力した実習期間を変更したいが問題ないか？
- A. 回答フォームへ入力した内容はあくまで予定となるため、変更については原則可能です。その場合、以下のケースに分かれます。
- ・変更時点で希望学生がいない場合、学生係へご連絡いただければ、入力情報の差し替えを行います。
 - ・変更時点で派遣学生が確定している場合は、当該学生と調整ください。
- ただし、当該変更にあたってはインターンシップの実施要件に適合する変更のみとしてください。
- Q. 実習場所への旅費、期間中の食事、送迎などを企業負担としてよいか？
- A. 本件に関しては、労働に対する対価（給与等に類似するもの）とは異なり、沖縄県の地域特性上、他の地域と比べて学生の負担が大きいことを考慮いただき、インターンシップにおける学生の支援として考えておりますので、ご負担のない範囲でご協力いただければ幸いです。
- Q. 学生が安全靴やヘルメット等を持っているか、又は持っていない場合はサイズを知りたい。
- A. 本件に関しては、派遣学生が確定した後に本人からご連絡を差し上げますので、派遣学生へ直接ご確認いただくようお願いいたします。
- Q. 事後の報告会に参加することは可能でしょうか？
- A. 基本的に参加はご遠慮いただいております。企業等においては、独自のプログラム設定や個人情報等の兼ね合いもありますので、学内のみでの実施を基本とさせていただきます。あしからずご了承くださいますようお願いいたします。